

# シクロデキストリン2重盲験で肥満改善効果を確認

α、β、γ(アルファ、ベータ、ガンマ)それぞれのシクロデキストリン(以下、CD)などを取り扱うシクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は、α・CDの単独摂取による体脂肪率の低下作用、抗アレルギー作用、またC<sub>α</sub>・Q10をγ・CDで包摂加工す

ることによる腸内吸収性の変化について試験を行い、それぞれに有意な改善傾向を確認している。抗アレルギー作用とC<sub>α</sub>・Q10の吸収性向上に関しては米国の学術誌にて発表された。CDは生産時に結合するグルコースの数によってα、β、γと区別され、それぞれ特徴が異なる。α・CDは水溶性難消化性の性質を持つおり、さらに唯一、CD単体での体重減少作用などの効果を持つている。一方、γ・CDは唯一の消化性だ。

II型糖尿病で肥満体系の66名を被験者とし、α・CD単独摂取による変化を測るダブルブライント試験を行い、その結果、プラセボ郡と比べ体重、コレステロール値、中性脂肪に有意な減少傾向が見られた。そのほかにもヒト試験によりインスリンとレプチンレベルの減少、またBMI値も数値

ある。これは摂南大学との共同研究によるもの。γ・CDのC<sub>α</sub>・Q10包摂における吸収率の向上。また同社は、C<sub>α</sub>・Q10をγ・CDで包摂することにより、体内への吸収が高まることを、同社製造元の米国・ワッカー社と、熊本大薬学部との共同研究により明らかにしている。

従来CDは生産時点ではα、β、γが混合されており、これらを分離することにかかりのコストがかかっていたが、ワッカー社のCAYAMAXシリーズはこれらを完全に作り分ける独自の技術により精製されるため、α、β、γ・CDを安価に供給することが可能になっている。

08年には第14回国際CDシンポジウムが日本にて開催される。医薬部門はジョンソン・アンド・ジョンソン、農薬部門はローム・アンド・ハース、食品部門はシクロケム社長・寺尾啓二氏がそれぞれCDの全般的な機能性の評価について講演する。

## C<sub>α</sub>・Q10包摂による吸収率の向上も

### シクロケム

健康な成人男女24人を対象に12人ずつのグループに分け、C<sub>α</sub>・Q10を30mg含有するγ・CD包摂体を摂取させるダブルブライント試験を行い、その結果プラセボ郡と比べ、18倍の差でγ・CD包摂によるC<sub>α</sub>・Q10の大幅な吸収性の改善が示された。

α・CD摂取による体脂肪低下と抗アレルギー

IgE抗体の過剰な攻撃を低減させることによる、改善効果がマウスを用いた試験で確認されて

同社は年齢30歳以上、